

プロジェクトアイドル

オーディション開催中（～8/31）

ソロでもグループでもない、
アイドルの新しいかたち



プロジェクトアイドルとは
ソロでもグループでもなく、
プロジェクト
(COLLECTION)
を単位に動くグループ。



アイドルファン

- ・ チェキを撮る以外の形で応援したい
- ・ 自分の所有欲を満たすかたちではなく、アイドルがやりたいことをそのまま応援できる仕組みがほしい
- ・ クラウドファンディングよりもっと簡便で、提案ができ、見たいものを見られるような仕組みがほしい

グループアイドル

- ・ やりたいことがあるがグループのコンセプトや方向性と異なることはできない
- ・ 「グループが成長するまでは我慢」と言われる。グループが売れないと、一番やりたいこともできるようにならない

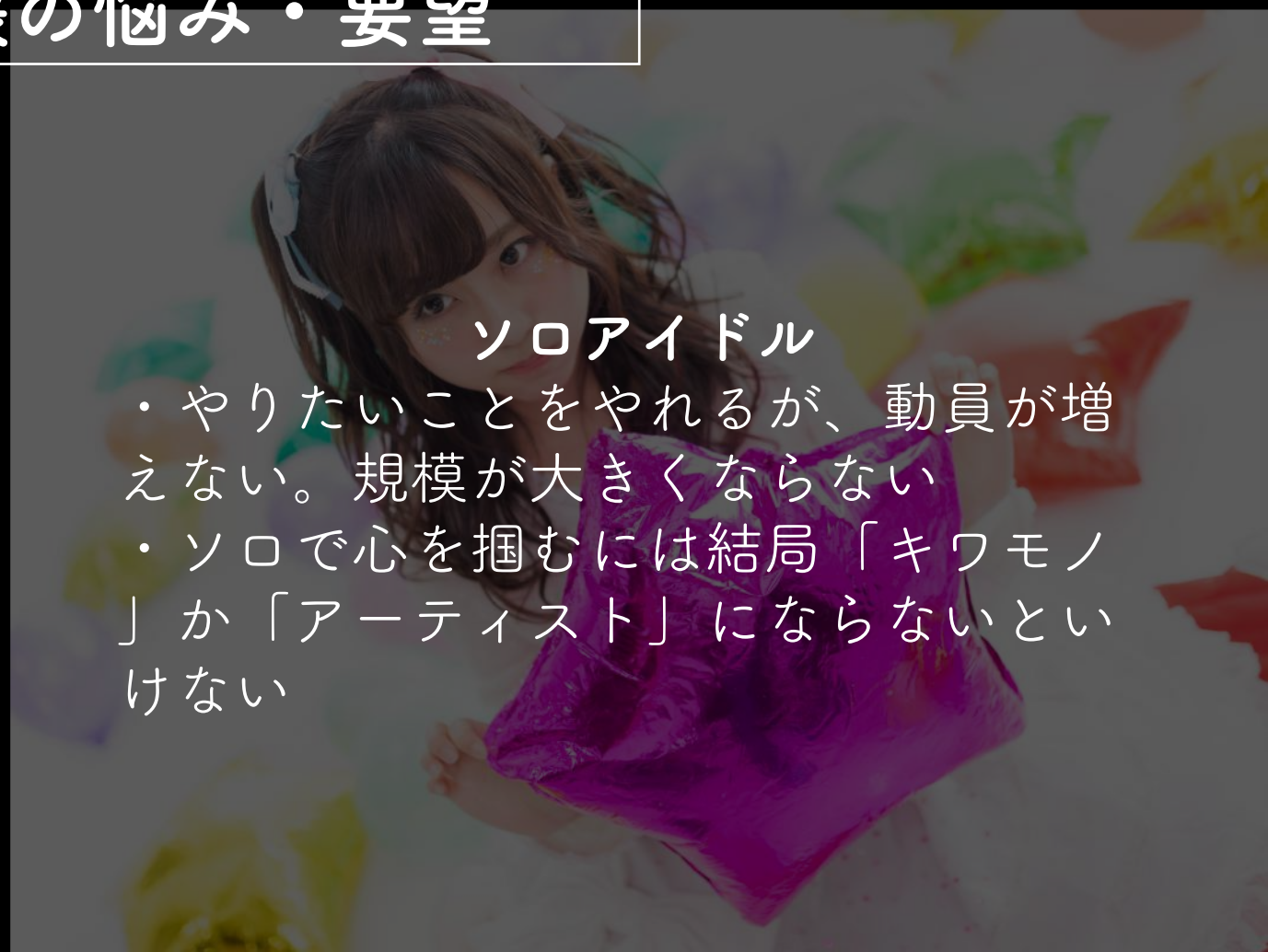
アイドル界隈の悩み・要望

運営・イベンター

- ・ アイドル界隈は縮小傾向にある…。
- ・ ミスiD界隈、YouTuber、アーティスト、モデル、ニコニコ動画圏、TikTokなど新興SNS界隈などと、演者もファン層も攪拌していきたい

ソロアイドル

- ・ やりたいことをやれるが、動員が増えない。規模が大きにならない
- ・ ソロで心を掴むには結局「キワモノ」か「アーティスト」にならないといけない





プロジェクトアイドルとは

そんな、
さまざまな立場からの
悩みや要望に
応える仕組み

COLLECTIONとは？

- ・ 現状のさまざまな悩みに“collection”は対応。
- ・ アイドル・運営・イベンター・ファンがイベント（collection）を計画
→ ファンは興味があるものを支援。
- ・ イベント単位、メンバー単位なので自由度が高く、かつ興味に沿った直接的な支援をしやすい。

COLLECTIONとは？

- ・ 「常態化したクラウドファンディング」は、最早クラウドファンディングと認識されず、新しい文化となる。
- ・ 例えば入場料、有料のチェキ会といった概念が通用しなくなる、新しいお金の流れとコミュニケーション。
- ・ 例えばマンネリを避け、一直線に夢へと進む活動。

COLLECTIONとは？

- 具体的に以下何点が紹介。
- あくまで構想段階で、こうなったらいいな、こうしたい、という想いだとお考えください。実際のグループ形成過程で臨機応変に変化しますが、大枠だけでもやりたいことが伝わればいいなと思います。



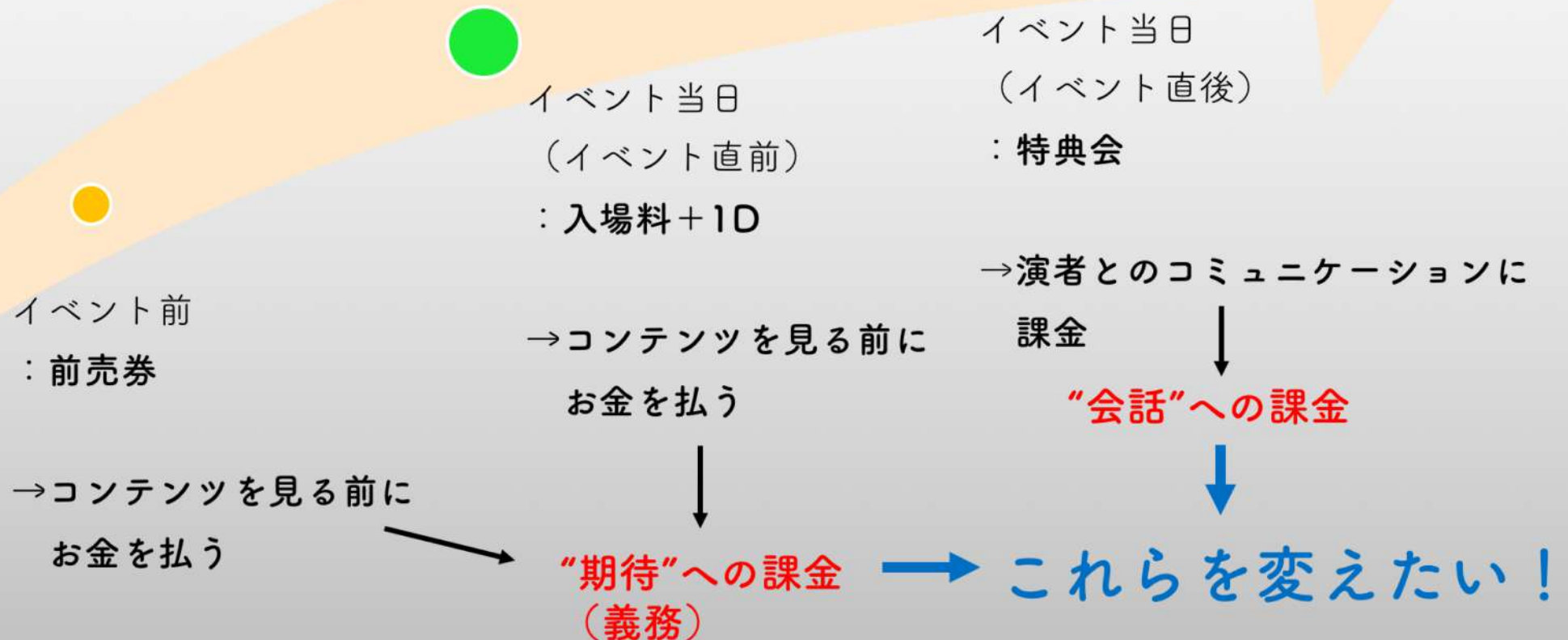
COLLECTION 1

新しいエコシステムを作りたい

COLLECTION 1「新しいエコシステムを作りたい」

旧来の仕組み

- ・ファンが現場のコンテンツを体験する前に課金を発生させたくない。
- ・人と人が会話するのは自然なこと、それ自体になるべく課金を発生させたくない。



COLLECTION 1「新しいエコシステムを作りたい」

新しい仕組み

のちに公開

An underwater scene with several fish swimming in clear blue water. Sunlight rays penetrate from the surface, creating a bright, ethereal atmosphere. The fish are of various sizes and are positioned at different depths, some near the surface and others further down. The overall tone is serene and natural.

COLLECTION 2

毎回のイベントを面白くしたい

COLLECTION 2「毎回のイベントを面白くしたい」

毎回が新しい。メンバーに成長があり、夢につながり、お金の払い甲斐があるイベント。

“量”の 地下アイドル

「露出を多く」という理由づくで、
実際は回数が自己目的化している

似たメンツとの対バン、
似たセトリ・演出で変化がない
→飽きられるか、接触現場化

低予算、短い持ち時間、
対バン制約で
面白い or 実験的な演出ができない

“質”の プロジェクトアイドル

回数を減らすかわりに、
毎回のイベントを主催化し
(ワンマンも多くし)、
自由度と質を上げる

予算を事前にある程度確保し、
質が高いものができそうな予測が
立ったらプロジェクトを実行する

目標となるグループ像

「常にクオリティが高い」
「常に演出が面白い」
「常に何が出るかわからない」
というファンの期待

予算がスケールすれば
企業とのコラボも
常態化可能？

娯楽性と実験性の両立。
「閉じたアート」に
ならない仕組み

メジャーの
「規模」「本格」感と
インディーズの機動性、
表現の豊富さとの両立

メンバーに
毎回異なる経験をさせ、
成長速度を上げる。
夢につながるイベントを
主体的に開催できる。



COLLECTION 3

各メンバーの夢を一直線に叶えたい

COLLECTION 3「各メンバーの夢を一直線に叶えたい」
ソロ単位でのCOLLECTION。「所属グループの規模」
を枷とせず、最初から大それた夢へ向かう。



COLLECTION 3 「各メンバーの夢を一直線に叶えたい」

旧来の仕組み

- ・グループが大きくならなければ、
メンバー個人の欲望も叶えられない

運営が自活できる

メディアや企業から
声が掛かる

人・お金を集められる

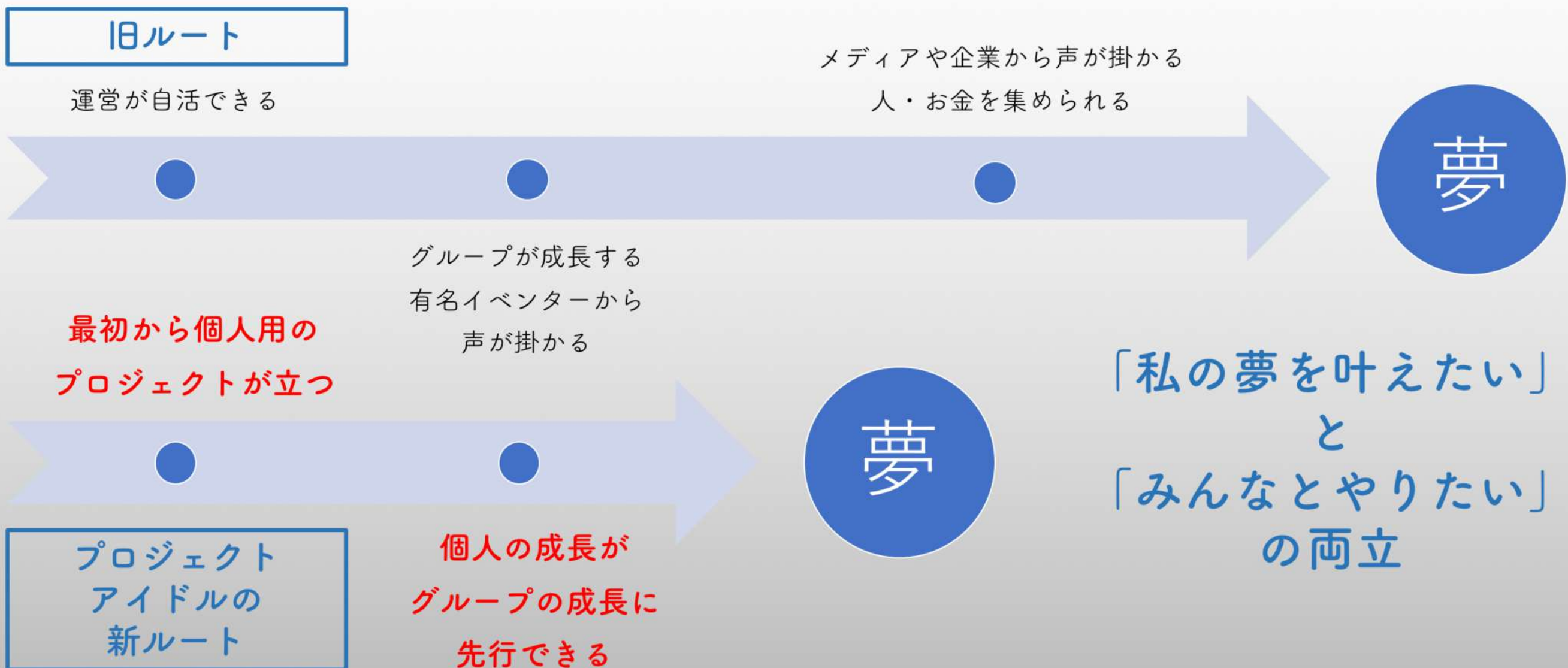
グループが成長する
有名イベンターから
声が掛かる

夢

COLLECTION 3「各メンバーの夢を一直線に叶えたい」

新しい仕組み

- ・ルートの二重化（グループ支援のルートと、グループ内個人を直接支援するルート）



COLLECTION 4

グループ横断的、ジャンル横断的な



COLLECTION 4「グループ横断的、ジャンル横断的」 他事務所・グループ所属アイドルや非ア イドルまで巻き込んだCOLLECTION。

- ・他グループにも渡って「協力しあう文化」を作る。
- ・他グループ運営・メンバーにとっても「グループの成長が遅く個人の夢を叶えられない問題」の一つの解決策に。

グループA
(プロジェクト
アイドル)

グループB
(既存アイドル
グループ)

グループC
(既存アイドル
グループ)

夢や趣味を介した
横のつながり。
それをベースにした
collection



メンバー A1
夢A



メンバー B1
夢A



メンバー C1
夢A

例えば、複数のグループ
に渡って執筆者を募り、
曜日交代で記事を書いて
最終的には書籍化・販売
する collection



メンバー A2, 夢B
メンバー A3, 夢C



メンバー B2, 夢D
メンバー B3, 夢E
メンバー B4 夢F



メンバー C2, 夢G
メンバー C3, 夢H

COLLECTIONとは？

- ここに挙げた collection の例はあくまで一例で、複数の collection が同時進行します。また、特定の collection が他のすべての collection を縛るということもありません。
(例えば collection 2 があるから対バンには全く出ない、といったことはありません。)
- collection はメンバーももちろん発案できます。

プロジェクトアイドル 初期メンバーになるには？

- ・新しい世界と、新しい自分へ。
- ・なんにでも、なろう。
- ・オーディションは、8/31まで。